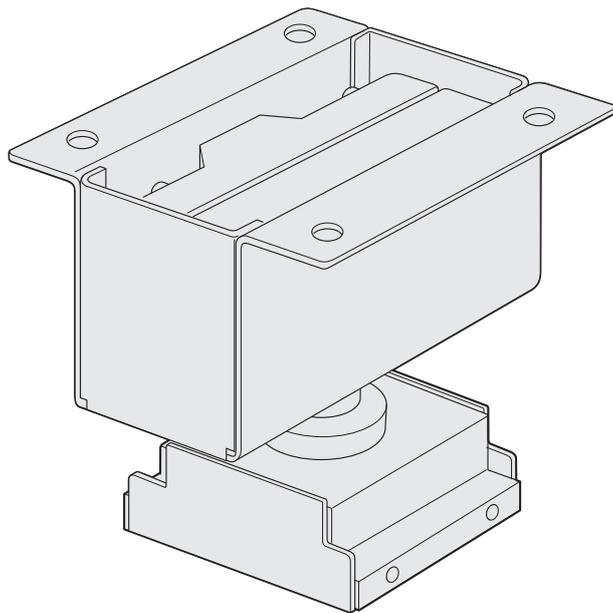


工事説明書 天つり金具 (低天井用)

品番 **ET-PKV100S**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ お客様へ

この「工事説明書」は、工事業者様用です。取り付け工事は、必ず工事専門業者にご依頼ください。
また、工事完了後は、この「工事説明書」を工事専門業者よりお受け取りのうえ、大切に保管してください。
移設、撤去の際には、工事専門業者にご依頼のうえ、この「工事説明書」をお渡しください。

■ 工事業者様へ

この「工事説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全に工事を行ってください。
また、1～2ページの、「安全上のご注意」は、重要な内容ですので、必ずお読みください。
工事完了後は、この「工事説明書」をお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

	■ 天井取り付け（天つり）などの設置工事は、専門業者あるいは購入店に依頼する （工事の不備により、大きな事故の原因となります。） →この工事説明書の内容に従って確実に施工してください。
	■ 取り付け場所の構造、材質に合った工事を行う （工法を誤ると天つり金具が落下してけがの原因となります。）
	■ 取り付け・設置作業は2人以上で行う （本機の質量は約1.1 kgあります。ご使用のプロジェクターと取り付け用ベース金具（別売品）の質量もご考慮のうえで、取り付け・設置作業は2人以上で行ってください。）
	■ 取り付け作業は足場の安全を確保して行う （倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。）
	■ 天つり金具のねじは、不用意に取り外したり、緩めたりしない （プロジェクターが落下して、けがの原因となります。）
	■ 強度の不足する場所に取り付けない （落下などによるプロジェクターの破損や、大きな事故・けがの原因になります。）
	■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気、熱の発生する所に取り付けない （火災・感電の原因となることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置のときに落下するおそれがあります。）
	■ 天つり金具を分解したり、改造したりしない （こわれたり、落下してけがをしたりする原因になります。）

分解禁止

安全上のご注意（つづき）



注意



■ 指定の Projektor 以外は取り付けない

■ 指定の方法以外の取り付けは行わない

（落下したり、破損してけがの原因になります。）

■ Projektor の吸・排気をさまたげる場所に設置しない

（火災の原因となることがあります。）

■ Projektor 本体や天つり金具にぶら下がったり、ものをぶら下げたりしない

（Projektor 本体が落下してけがの原因となることがあります。）



■ 取り付けの際は、必ず付属の構成部品を使用する

（Projektor や金具がこわれたり、落下してけがの原因になります。）

■ 取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する

（天井内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。）

■ 工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。

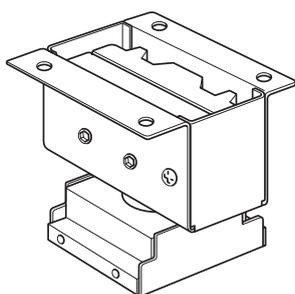
■ ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ、速やかに撤去してください。

お知らせ

- 取り付け用ベース金具の製品名、およびその説明書の呼称は、製品によって異なる場合があります。
- 本書内の Projektor および取り付け用ベース金具の形状は、製品によって異なりますのでイラストはイメージです。
また、天つり金具のイラストは、実際とは異なる場合があります。

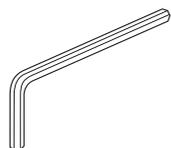
金具の構成

天つり金具…1個



六角レンチ…1個

（投写角度の調整に使用します。）



天つり金具の天井への取り付け

下記部品をご用意ください。（市販品）

- 六角ボルト（4本）
- 外径24 mm以下の平ワッシャー（4個）
- スプリングワッシャー（4個）
- アンカーナットまたはカールプラグ（4組）

すべてM8用をご用意ください。

お願い ご用意いただく部品（市販品）について

- 天つり金具の天井への取り付けは市販品のM8ボルトにて行ってください。取り付ける天井の状態によっては、取り付けに必要なねじの種類、ボルトの長さが異なる場合がありますので、天井の構造に応じて部品を適切に選定してください。

- 付属品の六角レンチは5ページの「投写角度の調整のしかた」のみで使用してください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ねじ類の締め付けトルクは、M8：10.0 ± 0.5 N・mで管理してください。
- ねじ類の締め付けには、トルクドライバーやトルクレンチなどを使用し、電動ドライバー、インパクトドライバーは使用しないでください。

お願い

- 包装材料は製品を取り出したあと、適切に処理してください。

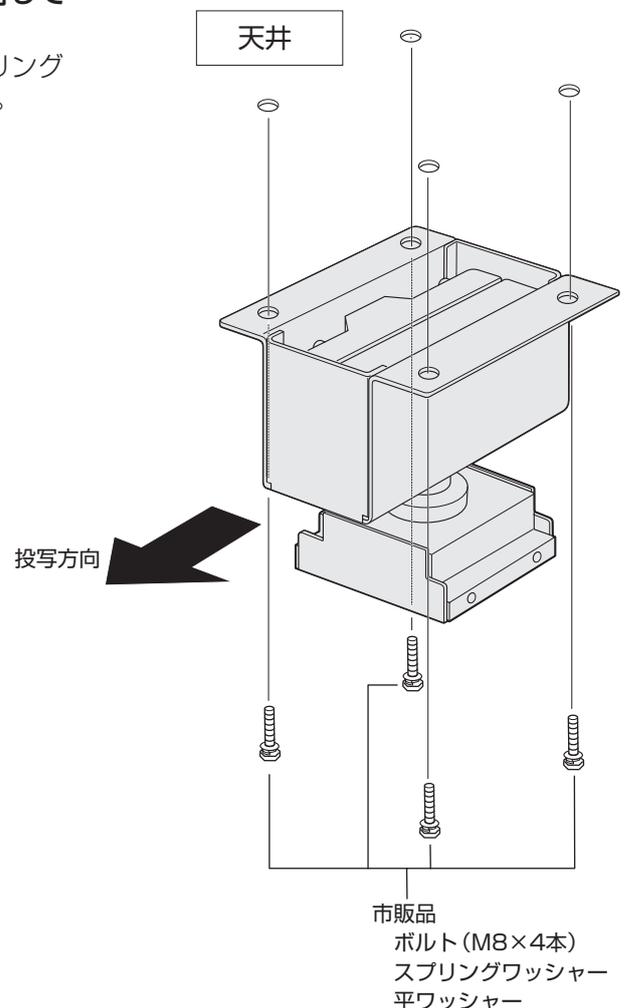
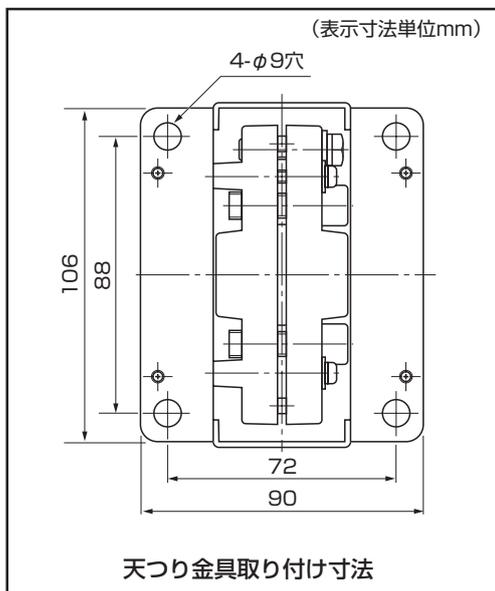
天つり金具を天井に取り付ける

[取り付け用ベース金具(別売品)の施工説明書の投写距離]、[プロジェクターの取扱説明書の投写距離] および [プロジェクター本体と画像位置との関係を示す仕様書] をご参照いただき、設置される場所の広さ、高さ、建物構造をご確認のうえ、スクリーンとプロジェクターの取り付け位置を決めてください。

お願い

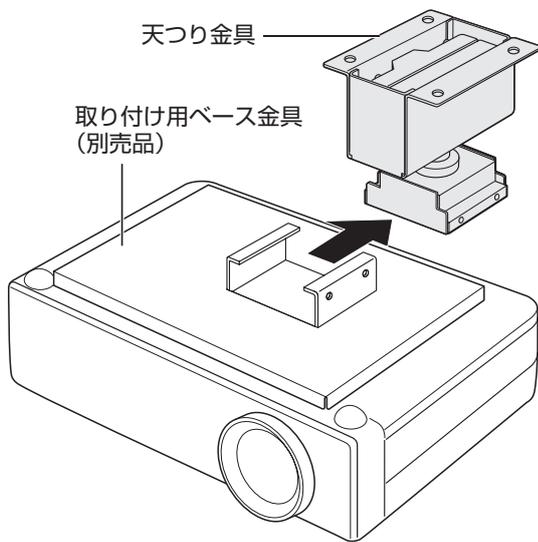
- 天つり金具とプロジェクターを天井に取り付けるには、天井に天つり金具とプロジェクターと取り付け用ベース金具を支える十分な強度が必要です。設置前に合計質量をご確認ください。強度が不足する場合は、安全係数に留意して十分な補強を行ってください。(本機の質量は約1.1 kgです。プロジェクターと取り付け用ベース金具の質量はご使用の製品により異なりますので、各製品の説明書をご確認ください。)
- 天井への取り付けには、市販のアンカーナット、またはカールプラグを使用し、木ねじは使用しないでください。アンカーナットおよびカールプラグは、メーカー指定の施工方法を守って取り付けてください。
- 市販品のボルト、スプリングワッシャー、平ワッシャー、アンカーナットまたはカールプラグは必ずM8用をご使用ください。
- 各ボルトは確実に締めつけ、緩みが発生しないように必要に応じねじロック処理などを行ってください。

- ① [取り付け用ベース金具(別売品)の施工説明書の投写距離]、[プロジェクターの取扱説明書の投写距離] および [プロジェクター本体と画像位置との関係を示す仕様書] を参照して、天つり金具取り付け位置を決める。
- ② 下図の天つり金具取り付け寸法を参照して、天井に穴を開ける。
 - 天井取り付け穴は、アンカーナット、またはカールプラグのサイズに合わせ、メーカー指定の施工方法を守って開けてください。
- ③ 市販品のアンカーナットまたはカールプラグを、手順②で開けた穴に取り付ける。
- ④ 天吊り金具を、市販品のM8用六角ボルトを使用して取り付け。
 - 天つり金具の取り付けには、市販品のM8用のスプリングワッシャーと平ワッシャーを必ず使用してください。



天つり金具にプロジェクターを取り付ける

- ① プロジェクターに取り付けられた取り付け用ベース金具(別売品)を、天井に固定した天つり金具に下図のようにスライドさせて取り付ける。



お知らせ

- 取り付け用ベース金具と天つり金具の取り付けに方向性はありません。
- プロジェクター(別売品)への取り付け用ベース金具(別売品)の取り付け作業については、ご使用の取り付け用ベース金具の施工説明書をご覧ください。



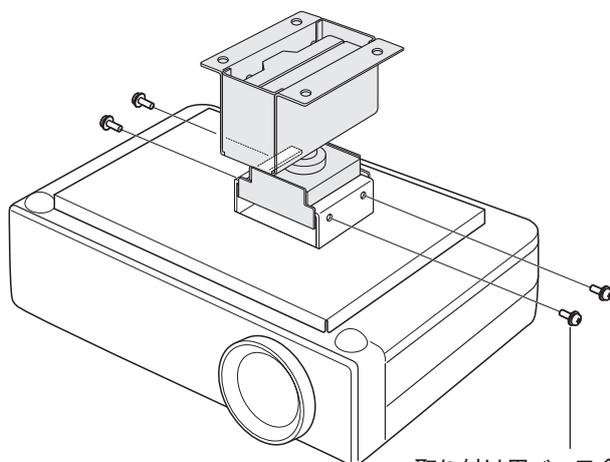
■ 取り付け・設置作業は2人以上で行う

※上記のプロジェクターおよび取り付け用ベース金具はイメージです。

お願い

- プロジェクターを天つり金具へ取り付けの前に、天つり金具の角度調整ネジ(6ページを参照ください)が締めつけられているか、天つり金具下端部の取り付け用ベース金具取り付け部が、水平な状態で固定されていることを確認してください。
- 天つり金具に取り付け用ベース金具を取り付けた後、天つり金具が取り付け用ベース金具にしっかりと収まっていることを確認してください。

- ② 取り付け用ベース金具(別売品)に付属の座金組み込みねじ(M4×10*)4本を使用して、取り付け用ベース金具を天つり金具にしっかり固定する。



お願い

- プロジェクターを天つり金具に固定したあと、プロジェクターの落下防止のため、取り付け用ベース金具(別売品)に付属の落下防止ワイヤーを、取り付け用ベース金具の施工説明書に記載の方法にて必ず取り付けてください。
- 取り付け用ベース金具(別売品)と天つり金具の座金組み込みねじ(M4×10*)を取り付ける際の穴をあわせる場合は、プロジェクターが天つり金具からはずれて落下するような力をかけないように注意して作業してください。
- ネジの締めつけトルクは、M4 : 1.25 ± 0.2 N・mで管理してください。

※取り付け用ベース金具により付属の座金組み込みネジの長さが異なります。

投写角度の調整のしかた

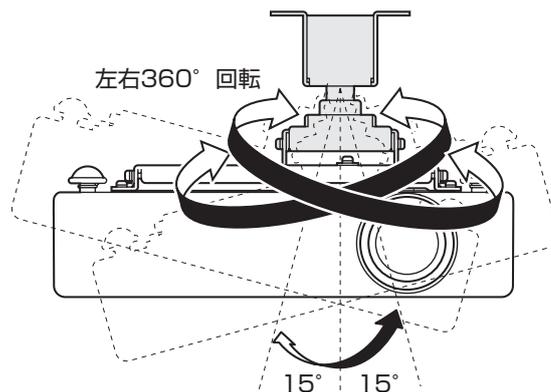
- 天つり金具には傾き、回転調整機構があります。レンズセンターがスクリーン面と直角になるように調整してください。
- プロジェクターの取扱説明書をご参照のうえ、プロジェクターから映像を投写し、フォーカスの仮調整をしてから角度調整を始めてください。
- 角度調整ねじを緩める際は、付属の六角レンチを使用してください。

お願い

- 付属の六角レンチは、調整作業以外では使用しないでください。

■ 角度の調整範囲

傾きは15°、回転方向は360°の範囲で調整できます。

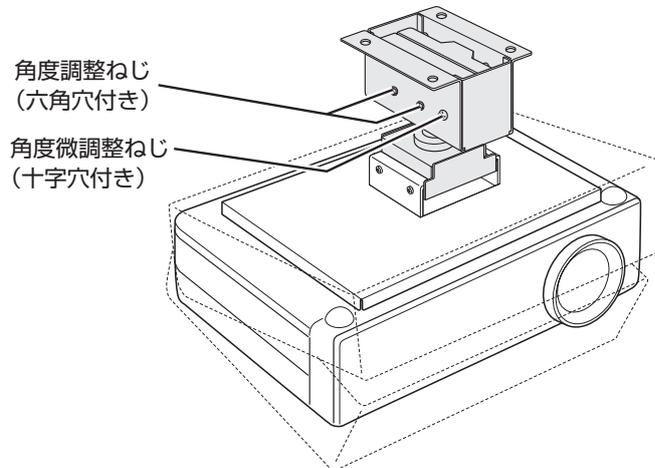


■ 角度の調整方法

- ① 角度調整ねじ（六角穴付き）（2本）と角度微調整ねじ（十字穴付き）を緩め、映像がスクリーン中心に投写されるように合わせます。

※角度調整ねじを緩めた状態で角度微調整ねじのみを締めると、仮固定（or半固定）された状態になるため投写角度の調整がしやすくなります。

- ② 投写角度が決まった後は、必ず角度調整ねじおよび角度微調整ねじを締めつけて確実に固定してください。



お願い

- 角度調整ねじを締めつけた状態のまま設置角度を再調整すると、固定部が変形して元に戻らなくなる場合があります。投写角度の再調整は、必ず角度調整ねじを緩めてから行ってください。
- プロジェクターの[位置調整]メニューで台形ひずみ補正をしていない状態で設置角度の調整をしても、映像が台形にひずんでいる場合は、スクリーンとプロジェクターの位置関係がずれています。スクリーンとプロジェクターが正対して設置されているか確認してください。または、プロジェクター側で台形補正を行ってください。

仕様

調整範囲	傾き：0～15° 回転：0～360°
外形寸法	幅90×高さ95×奥行き110 mm
質量	約1.1 kg

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 電話 ☎0120-872-601